



台湾大地震で救援

423人を治療

AMDAメンバー帰国報告

大地震で被害を受けた台湾で医療支援していたアジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市）の緊急救援チームのメンバーが帰国、岡山市榑津のケアハウ

ス「茶山亭」で三十日、活動報告をした。

派遣されていたのは隊長の三宅和久医師（岡山市在住）など七人の医師や看護婦ら。地震発生翌日の二十二日に台湾に到着。主に、医師の手が足りない地域を五日間で六カ所回り、計四百二十三人を治療した。早朝にマグニチュード6・8の余震があった二十六日には、救急患者の処置にあたった。二十九日に空路で帰国した。

海外派遣は十二回目となった三宅医師は「今までの中で台湾が一番動きが速か

った。軍と民間人の連携など非常に効率がよかった。受け入れ態勢も抜群。日本が学ぶべきところが大いにある」と話した。